

# CentreCOM® 8224XL リリースノート


この度は、CentreCOM 8224XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1. ソフトウェアバージョン 2.2.0J

## 2. メニューから削除された項目


ソフトウェアバージョン 2.0.0J から 2.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

### 2.1 ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)について

 参照「オペレーションマニュアル」2-22 ~ 2-25 ページ

[ Administration ] メニューの [ Update software in another system ] および [ Broadcast updated software to all systems ] オプションは、ネットワーク経由によるダウンロード機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。


### 2.2 ウェブからのソフトウェア設定について

 参照「オペレーションマニュアル」2-41 ~ 2-42 ページ

[ System Configuration ] メニューの [ Omega Options ] において、ウェブからのアクセス制限を設定する [ Web-based Omega Enabled/Exclude Web-based Omega ] オプションは、ウェブからのソフトウェア設定機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

### 2.3 ターミナル設定の Generic “ dumb ” terminal について

 参照「オペレーションマニュアル」1-14 ~ 1-15 ページ, 2-48 ページ

[ System Configuration ] メニューの [ Terminal configuration ] において、ターミナルの種類に合わせてソフトウェアを設定する [ VT100-compatible/ANSI Generic “ dumb ” terminal ] オプションはメニューから削除されました。これにより、本製品のターミナル設定はVT100-compatible/ANSI のみとなります。


### 3. 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 登録済みの VLAN ID を変更し、その VLAN の所属ポートを受信ポートとするスタティック MAC アドレスの登録を行った場合、VLAN 名が「Null (not configured)」となってしまう問題がありましたが、これを修正しました。  
また、スタティック MAC アドレスを登録後、その所属 VLAN の VLAN ID を変更すると、スタティック MAC アドレスの VLAN 名が「Null (not configured)」となってしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.2 VLAN ID が 255 以上に設定されている VLAN の所属ポートを受信ポートとするスタティック MAC アドレスの登録を行った後、システムをリブートすると、そのスタティック MAC アドレスが削除されてしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.3 通信中のポートでケーブルの抜き差しを繰り返した場合、ケーブルを抜いてもダイナミックに登録した MAC アドレスが削除されないという問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.4 ポートランキングが設定されたポートでソース MAC アドレスがブロードキャスト値（すべて「f」）の packets を受信した場合、そのポートで正しく通信できなくなる問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.5 ポートランキングが設定されたポートで Ping パケットを受信中に、ランキンググループのポートに接続されているケーブルをすべて抜くと、ダイナミックに登録した MAC アドレスをスタティック MAC アドレスとして登録してしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.6 Ping テストにおいて、対象となる機器が接続されているポートのケーブルを抜き差しした後、[ Ping a remote system ] を実行した場合、最長で約 10 分間通信ができなくなる問題がありましたが、これを修正しました。


### 4. 本バージョンでの制限事項

#### 4.1 RMON 機能について

 「オペレーションマニュアル」 2-16 ~ 2-17 ページ

RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

#### 4.2 マルチキャストアドレスの追加 / 削除について


 「オペレーションマニュアル」 2-100 ~ 2-103 ページ

[ MAC Address Table ] メニューの [ Multicast address ] において、[ Add MAC address ] および [ Delete MAC address ] オプションを使用したマルチキャストアドレスの追加、および削除は現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

---

#### 4.3 拡張モジュールについて

拡張モジュールを1枚のみ使用する場合は、上段のスロット(スロットA)に装着してください。

 「ハードウェア設置マニュアル」3-7 ~ 3-8 ページ

AT-A15/SX・AT-A15/LXをご使用の際は、GBIC モジュールの取り外し、他の GBIC モジュールとの差し替えはしないでください。他のGBICモジュールを装着した場合のサポートはしておりません。

---

#### 4.4 SNMP 機能について

[ Administration ] メニューの [ Reset and restart the system ] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。


---

#### 4.5 設定変更時のご注意

システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[ Main Menu ] -> [ Administration ] とすすみ、[ Reset and restart the system ] を実行し、システムをリセットしてください。

---


#### 4.6 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ

[ Administration ] メニューの [ XModem software update to this system ] を実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

---


#### 4.7 1000BASE-X/1000BASE-Tアップリンクポートポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

---

#### 4.8 ポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品がミラーリングするパケットは次のとおりです。あらかじめご了承ください。

Source port から送信されるパケットをミラーリングします。


Source portで受信し、フォワード先のスイッチポートから送信されるパケットをミラーリングします。学習済みのユニキャストパケットについては、フォワード先のスイッチポートのタグ付き / タグ無し設定が Destination port にミラーリングされます。

また、Source port でシステム本体宛てに受信したパケット(Ping など)は、タグ無しパケットとしてミラーリングされます。

#### 4.9 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMPスヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。


#### 4.10 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[ Ethernet statistics ]メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。


### 5. マニュアルの誤記訂正

#### 5.1 ポートトランキングの設定について


 「オペレーションマニュアル」2-54 ページ

ポートトランキングの設定に関する記載に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

**誤**

 複数のポートトランキングは設定できません。  
また、ポート4～7やポート15～20のような、「Port for port trunk 1～5」のグループにまたがるポートトランキングは設定できません。


**正**

 複数のポートトランキングは設定できません。  
また、ポート4～10やポート15～20のような、「Ports for port trunk 1～5」のグループにまたがるポートトランキングは設定できません。

ポート4～7は、「Ports for port trunk 1(01-08)」に属していますので、ポートトランキングの設定は可能です。

また、このヒントに「複数のポートトランキングは設定できません」との記載がありますが、ソフトウェアバージョン2.0.0Jより、トランキンググループの複数設定が可能になっています。詳しくは、「追加機能マニュアル」を参照してください。

#### 5.2 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

**誤**

2,047 個

**正**

254 個